西日本支部連合会管内

助日インバウンドにおい **磨きをかけ、国内旅行や** 振興 ・観光振興にさらに

至域への誘客につながる

〇が取り組んでいる地域

点目は、

各地のDM

宿泊増売に向けて 「イン 素材を最大限に活用し、

ウンド誘致キャラバ

「地域の魅力再発見

「ホテルの新商

した熊本地震からの復興

送客および義援金をはじ

全国各地よりご

今年度は、さらに厳し キャンペーンが終了

方

ク協議会活動をリンクさ

によるもので、

· 沖縄経済

策の新たな商品開発・販ンド化』推進」「下期対

ラリンピックまで、

あと

員は

「海外からのお客さ

積み上げてゆくというオ

-を蓄え、準備を

旅ホ連のホテル会

東京オリンピック・パ

B 旅

ホ

連特

JTB日本の旬・九州」

まずは昨年4月に発生

JTBグループ宿 7年度も北海道

会長

な課題である。そのためを図っていくことが大き

数ベースにおいて、 桶川昌幸

北海道支部連合会

需要創造を図る 着地型商品の開発を目指 し、地域活性化や新たな 「地域振

18年、北海道命名15

い。務めを果たしていきた

安定的な人材確保をめざ

「旅館経営人財育成

合会では、

合会では、「おもてなししい取り組みとして当連

が東北への来訪されるこ年以降、多くのお客さま

の観点から、人材育成と

どの強化に取り組む。

新

てのゴールではない。20ンピックは、東北にとっ

例の共有と予防促進策な やリスク発生時の対応事

京オリンピック・パラリ

20年に開催される、

東

売につながるよう旅ホ連の一枚岩になり宿泊増

事業に邁進していく決意

また、人財・組織強化

合会長の後、

しっかりと

そして、大西前支部連

たい。

めたい

た事業の検討もしていき

性ある地域づくり」を進

ホ連共済制度の維持拡大

リスク軽減を主眼に、

リスク軽減を主眼に、旅組織強化では、会員の一

い。固な関係構築を目指した

供発力し信を

、東北が三位一体とし続け、ご満足を提

ケールメリットを生かし連合会の強固な連携とス

を借りながら、大きなム

JTBの皆さんの力

有する。

ーブメントを起し、

外国

アップ重視は欠かせな ドの推進でも地域の魅力ョンになり、インバウン 地域の旅ホ連会員との 当連合会としては、同

・価値の創造、ブランド食事などを生かした魅力

旅ホ連会員が主体とな

手不足対策」の情報を共 進や本部と連携した「人 なし検定試験」の受験促

Bグループ会社との交流 会、会員交流およびJT 立ち上げた。会員の勉強 究会」と二つの研究会を研究会」「若手経営者研

しまに

ご受け入れ基盤整備を

かり行う。東北の魅

してプロモーションとがゴールだ。その準備

系 造」を目指し、三位一体 ころ 新たな価値と需要の創 、

結果としての宿泊増

将来に向けた強

国内外のお客さまに

地域活性

化

0

原

動力に

中部支部連合会

は自ら作るもの」地域の

道の歴史、自然、文化、

いきたい。

「地域の魅力

0年という節目が控えて

いる。これを契機に北海

し、磨き上げ、増売して的な旅行商品を生み出

アカデミー」

への参加促 おもて

「日本の宿

化を積極的に推進し、当

状況から他の地域、特に 圏に集中しており、そのや小樽、登別などの道央 道東・道北地域へと分散 かした魅力ある北海道の 0選」のコンセプトを生 コラボレーションと共に 「北海道感動の瞬間10

推進していく。

人観光客の約73%が札幌

ことで、日本がグローバにも地域が魅力的になる

発な交流機会を創出 在感あるデスティネーシルツーリズムのなかで存

13年以来となる下期の活動を行っていく。特に

沿増売達成のため、

各支

さまざまな

会長

引き続き開業効果を全道

海道新幹線が開業した。

昨年、3月26日に北

強力にサポ

トしてい

日本の旬

北海道」を

に波及させ、

地域の発展

や活性化を目指してい

憲太朗

が、必要不可欠である。 ことだ。「東北ならでは」 の地域ブランドづくり う、われわれが努力する ジを持った方々がリピー 国の「地域創生」 となってくださるよ

へら、国内外へプロモーシ 域が官民と連携しなが 全国各地 政策 を決めると言っても過言 組みを継続することが、 員施設一体となった取り

ではない 未来の東北の観光の発展

切り口が感じられる魅力 ア創出力を高め、新しい 素材発掘能力、アイデ

光

総会に向けてのメッセージー

を聞いた。

週

刑

ウン

F

誘致など推

西日本支部連合会

き、宿泊増売につなげて

進を行う。

いくこととしたい。

勉強会やコミュニケーシ

会の開催および受験の促種検定に向けた事前講習

会、交流会の開催を通じ、

検定」をはじめとする各

せ、誘客に全力で取り組

んでいく。

また2年ぶり11回目を

注目を集める同市。この景に、近年は「食」でも、史的・文化的独自性を背が

喚起と交流の創出を目指

関係諸機関の皆さまとて取り組んでいく。

うきたい。会員一同、九州の確立に向けた取り組みをますます推進していました取り組みである。

・ をもって歓迎したい。 ・・ してご滞在いただけるよ

をもって歓迎したい

を掘り起こし、旅行需要地域ならではの観光資源

九州

全体の観光復興、そ

を訪れるお客さまが安心

してきた。

し、熊本地震からの

連

文 部 連

4

ョンをさらに強化してい

經

②JTBとの連携に関する考え③会長、部会長としての意う連携を図るのか。各会長、部会長に①17年度事業の概要に向けて2017年度にどんな事業を展開し、JTBとど

·B旅ホ連の6支部連合会やホテル部会は、宿泊増売

宿泊者の延 様性」など、多くの方々 ことは、その良いイメー

ならではの魅力を発信し

ョンを行っている。東北

濟

北海道では、

日旅行者数の伸びは昨年

折々の自然のすばらし

プロの増加のために必要ないただいている。交流人に良いイメージを持っている。

東北の魅力は、

「四季 に良いイメ

に比べて鈍化している。

さ

「温泉文化と食の多

404万人になった。訪によると年間累計で約2

者数については、観光庁

訪日外国人旅行

ホ連が取り組む連携、 勢の構築が必要だ。 ランスの良い受け入れ態 すためには、 「足並みのそろった」 それには、 リピーターを増や でろった」バースのであった。 JTBと旅

東北支部連合会

ドになると思う。 47DMC支店・行政・会 「三位一体」がキーワー J T B

欠く中、個人消費の低迷、16年度は、欧州・米国 泊者数が前年を下回っの反動など、年間延べ宿 「地方創生・ふるさと割」

なった一年でもあった。

17年度は、

昨年に引き

となるが、

う、新たな課題が顕著に による「民泊問題」といた都市部での訪日外国人 た。また、東京を中心とし

会長

なり進めていく。

みを、各種委員会、

部会 の な知 蒙 既光素材を掘り起こ 年となる。 に、関東全域の新た 栃木、群馬)を 北関東

「活発な交流 信で その魅力を全国に発 きるよう、各支部の

を着実に実行に移すこと 具体的には、事業計画

傾向の見通しである。こ旅行全体においては回復 のような環境下におい て、関東支部連合会では、

活動を通じて会員一丸と 今年度も「課題解決」へ 向けたさまざまな取り組

懸念材料が残るが、国内 動を る 部に なメ 年度は、次年度18年 継続していきたい 有益な情報を発信す とを目的に活発な活 ーを加え、 各 支

続き、海外政情不安など 支部 委員会活動では、各 から選任された新た

えである。

(仮称)」に向けた準備下期「日本の旬 北関東

台としてスター

目される地域となってい る。とりわけインバウン ているなど、全国から注 倍という好調さを維持、

今が地方に分散させる絶 行動は、昨年来、から体 ドは好調で、お客さまの 験型へと重点が移行し、

域づくり」の実現へ向け、機会の創出・個性ある地 一動を徹底支援してい ・地域主体による支

丸

課題

解

决

本年、 中部域内ではレ

関東支部連合会

り、北陸新幹線は今春、の旬信州が4月から始ま な城主直虎」が浜松を舞 ゴランドが4月に開園、 は、在来線特急の2・75 開業2年を迎え乗車人員 NHK大河ドラマ「おん 日本 好の機会ととらえる。 からは地方の個性を打ち って魅力ある観光地づく の取り組みとして りを目指してきた。これ グループと三位一体とな 「地域振興・観光振興」 これまでに旅ホ連は 村モデル」

やこれから稼働する法人 ていきたい をとりながら活動を進め 中部圏誘致協議会と連携 を基本テー 出と個性ある地域づくり は、活発な交流機会の創

は35法人が登録された。 が登録され、中部域内で 国の施策でもある地方創 り」が重要となる。一方、 すでに稼働している法人 生の一環として日本版D 出す「個性ある観光地作 MOが全国で 品化をめざしたい 品化をめざしたい。本年ムを開発して各支部で商 につながる地域プログラ

会長

らない

で決まる。旅ホ連もそのは、地域の取り組み次第 原動力とならなければな

そのための人を作る。

濱田 政利

は、地域の取り組み次第性化に機能するかどうか 材育成も重要な活動であ もあるが、地域の観光活

全体の 観光復興 九州支部連合会 現れてきている。今年度めた地道な活動の成果も 支部連合会でキャラバン し、正確な情報発信に努 16年度の沖縄観光客入

定めており、その中で特

に宿泊増売を目指すうえ

合会は五つの基本方針を

17年度、西日本支部連

品開発」

などを推進、

き旅ホ連会員とJTBグ

種研修・セミナーの活用。 営人財アカデミー」や各

< < >

ープ社員との意見交換

「日本の宿

おもてなし

2点目は、昨年に引続

会長

増田

を図っていくことだ。 グループとさらなる連携 ツ」開発においてJTB 「魅力ある地域コンテン

を設立発足し、

「旅館経

の強化を目指し、

宿泊増

売事業と共に取り組んで

友宏

動した「着地型商品」

の活動目的に則り、

西日

のリスクマネジメントや 題解決を図り、会員施設

受け入れ態勢の質向上を

沖縄支部連合会

大を

図ると共に、地域コ

実した受け入れ活動を柱 会を中心とした誘客や充

に取り組む。特に、JT

JTB国内旅行

スタイルの提案」による

ている。

プと共に、「新たな旅の

需要創造と国内外に沖縄

加価値型商品のシェア拡せることで高品質・高付

向上、

企画販促情報委員

ウンドの受け入れなどを着地型商品開発、インバ

なって、成長領域である

一層強化する。

引き続き、

JTBグル

施策を進化さ

、旅ホ連共済の加入率「やどこむ」の活用促

「やどこむ」

トする。「沖縄快適宣言」路開拓」を強力にサポー

員

丸となり取り組む。 全体の価値向上へ会 ンツを活用した「旅

しては、会員専用サイ支部連合会の組織強化

支部連合会が三位一体と

の魅力を発信していく。

本支部連合会としても

成長戦略に必要な人財の

「人財·組織強化委員会」

確保・育成、

旅ホ連組織

本部において新設される

また本年度から旅ホ連

制度)などの活用を通じ

旅ホ連共済(福利厚生

ホ連独自の地域活性化プ 迎えた、JTB九州&旅

人財の安定確保などの課

|人財・組織強化委員会|

で二つの事業を推進して

頂いた。九州支部連合会 めとする多大なご支援を を代表して心より御礼申

豊田 昨年度に支えていただ

会長

も九州観光復興に事業の

目的をぶらさず収斂し、

いた「九州ふっこう割」 取り組んでいく。 かつ地道に委員会活動に そのためには、旅ホ連、 JTB国内旅行

強化は重要だ。さらに旅 ホ連連合会活動とJTB 企画の三位一体の一層の 州観光推進ネットワ 席数の提供数の増加、 としては、航空路線の座 める結果となった。要因の17・2%のシェアを占 0万人を超え、沖縄全体 ンバウンドの急激な伸長 人需要の堅調な推移、

は、前年比8%増の1 域者数に対して、 グループによる取り扱い J T B 法 いる。 ける魅力・価値の『ブラ ィー』向上 「沖縄にお

を牽引する観光業におい て一定の役割を果たして

会長

新垣

を見据えて

ホテル部会

を持ち、切磋琢磨を通じ

と考える。

いて独自のスタンダー 客さま対応サービスにつ

ホテルはそれぞれ、おーソドックスなものだ。

お

本方針である「受け入れ 画の宿泊増売に向けた基 会は、JTB国内旅行企 態勢における『クオリテ

部会長

二村 等 ことではなく、

重ねたい。それは特別な っかりと果たせる準備をができた時の役割を、し う、日本に最初のホテル まを温かく迎える」とい てレベルを向上させてき

啓発を中心としたソフト 従業員教育、自己 ハードを 有意義なのは、 は、海外からのお客さま た。大きな節目の3年後 いところ、

ホテルの良い 旅館の良 ル建設が盛んになるとい

らうチャンスにしたい。 ところをお互いに学べる JTBの旅ホ連活動が 「日本のホテルなら う歴史が繰り返されてき お客さまにとって、従業 信じ、 員にとって大切なことと 設としてソフトの価値をた。そこに在り続ける施 維持向上させることが、

事業 加え、旅ホ連 てもらえることが、ホテと、多くの皆さまに感じ 促進、補助もありがた 員教育に活用するホテル やソムリエ検定への受験 今年度からは、和食検定 ス実務検定試験」の受験 会員も増え、マナー ル部会の旅ホ連への貢献 過程が旅ホ連のメリット の価値向上目指す。その にも補助を広げてもらっ な仕組みを活用し、 主催の「ホテルビジネ 大きな節目ごとにホテ 日本ホテル教育センタ 旅ホ連のさまざま ルとしても定着 自助努力に 电这受价中 (第 🛛 期 申込締切 6/28

■(株) JTB コミュニケーションデザインと(株)ビジネス・ブレークスルー (代表:大前研一) が共同開発 ■大前研一をはじめ、各テーマに応じた専門性の高い講師陣をキャスティング ■『世界の観光動向』『観光地開発』『観光マーケティング』『最新テクノロジー活用』など、 実践的な知識とスキルを習得 ■経済的かつ学ぶ人の都合に合わせたオンラインスクール

Communication



受講期間:6 カ月 受講料:15 万円(税抜) 申込方法:WEB 申込 「お申込はこちら」 **http://tourism-leaders.com/** 左記の URL 情報を読み取ることができます。

ある未来委員会で、宿泊きる。旅ホ連活動の要で ご協力をお願いしたい。 く。今年度も関係各位のとなり事業を推進してい 接指導を受けることがで 開発プロデューサーに直 B中部交流文化部の観光 園」という成功例 「阿智 域内には「天空の楽 があり、JT 諏訪湖の四季を眺める寛ぎの宿 泉と、本格会席料理でおもてなし。 上諏訪温泉を代表する純和風旅館 近代数寄屋造りの和風空間で お寛ぎ頂けるようお迎え致します。 料理は、関西有名料亭仕込みの本格会席を、 月替わりの献立で、個室料亭もしくは 料理茶屋にてお楽しみ頂けます。 浜の湯 〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り3-3-10 TEL: 0266-58-8000 FAX: 0266-53-0614 http://www.hamanoyu.co.jp/